

事業番号	05 04 02	事業改善シート(26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	農業集落排水事業			担当課	部局	環境部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	生活排水課	
	施策の総合的展開	3-2 豊かな自然環境の保全 1 水・大気環境の保全			E-mail	seikatsuhaisui@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	S56 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	施設の持続的かつ効率的な管理運営(施設の改築・機能保全を含む。)を行うことで、農村生活環境の改善と農業用排水の水質保全を図る。 成果目標:汚水処理人口普及率 96.6%(H24)→98.1%以上(H27) (下水道、浄化槽等を含む。)	
現状(予算編成時)	新規の施設整備はH21年度末に終了。今後は更新改築の時期を迎える施設が増加するため、計画的な改築更新を進めるとともに、長野県「水循環・資源循環のみち2010」構想に基づき、施設の統廃合等も進めていく必要がある。	

県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務) 県民との協働による実施:実施は困難	【左記の説明、根拠法令等】 農山漁村地域整備交付金実施要綱 長野県「水循環・資源循環のみち2010」構想
----------	--	--

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)					
	・老朽化した農業集落排水施設等の改築(機能強化)、施設等の効率的な維持、運営を図るための機能保全及び調査計画を実施する市町村への補助を行う。 機能強化:4町村、機能保全:11市町村、調査計画:7市町村 ・汚水処理人口普及率97.7%(市町村整備計画を基に積算)					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H26事業実績	H26 (当初) (決算)		H27 (当初)
	農業集落排水施設等の機能強化、機能保全及び調査計画	補助金	機能強化対策:4町村 機能診断及び保全計画の策定:12市町村 調査計画:5市町村	227,500	188,003	225,490
(一社)地域環境資源センター負担金	負担金	農業集落排水施設に関する技術開発、調査・研究を行っている(一社)地域環境資源センターへの負担金	90	90	90	
事務費	直接		6,280	2,853	7,905	
合計			233,870	190,946	233,485	

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越	26,650	95,550	67,783	
	当初予算	57,305	162,615	233,870	233,485
	補正予算	99,826	6,917	-110,707	
	合計(A)	183,781	265,082	190,946	233,485
	一般財源	6,425	13,082	2,943	7,995
	県債	0	0	0	
	国庫支出金	177,150	252,000	188,003	225,490
	その他	206	0	0	0
	決算額(B)	88,230	197,298	190,946	
概算人件費	職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00
概算人件費	概算人件費(C)	16,516	16,516	16,516	16,516
概算事業費(B(A)+C)		104,746	213,814	207,462	250,001

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27
		目標	成果	達成状況	目標
汚水処理人口普及率(%)	96.8	97.7	97.3	未達成	98.1

目標に対する成果の状況	市町村の計画的な生活排水処理施設の整備により、汚水処理人口普及率は年々向上している。汚水処理人口は、目標値より0.8万人ほど上回っているが、行政人口が目標設定時の見込値より1.7万人ほど上回ったため、汚水処理人口普及率(汚水処理人口/行政人口)は目標値を下回っている。
-------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	引き続き、長野県「水循環・資源循環のみち2010」構想に基づき、生活排水処理施設の計画的・効率的な整備を図っていく。また、平成27年度は、長野県「水循環・資源循環のみち2010」構想が計画策定から5年目を迎えることから、社会情勢等の変化を踏まえた内容の見直しを行う。